

子どもたちと向き合う職員に
想いを語ってもらいました

教育支援センター 職員インタビュー

「助けて」を伝えられる人が近くにすることが何より大事

当センターは子どもにとって「居心地が良いか」を大切にしています。その上で、その子の持ち味に合った支援を行なっています。しかし、ただ「居場所」だけがあればいいという訳ではなく、「出番」も必要です。自分の出番を通じて「自分にもできること」や「役割」を体験してもらえ居場所づくりを心がけています。家庭内でも、まずは何気ない会話から、話し合える環境「居場所」を作ってあげてください。そ

して、子どもが自分から出せないSOSに何とか気付いてあげてほしいです。
心配や不安な時は、躊躇せず相談してみてください。当センターでも他の居場所でも、そこがどんな場所であっても、悩んでいる子どもに良い選択肢が見つかることが何より嬉しいです。



教育支援センター長 森田常義さん

私たちは困っているあなたの助けになりたい

「あなたは独りぼっちじゃないよ」と伝えてあげられる存在になりたい。不安になることは悪いことじゃない。自分が孤独で不安だとしても、悩まなくて大丈夫。あなたの良き理解者に会える時が、いつか必ず来ます。それが当センターだったり、私たちであれば一番嬉しいです。

あなたにとって、通いたいと思える場所になりたいです。良かったら心のエネルギーを溜めに体験に来てください。あなたたちが元気になっていく姿は、私たちが幸せな気持ちにしてくれます。



相談員（心理士）吉田葵さん（左）、深澤一雄さん（右）

安心して過ごせる場所を提供したい

子どもは不登校になったことに負い目を感じやすいので、支えてあげたい。あなたの家族以外にも、あなたを大事に思ってくれる人がここにいるんだよ！と、伝えたいです。不登校に悩むのは保護者でも同じです。自分だけで抱え込まず、一步をふみ出して私たちに頼ってください。親子それぞれの支えになれば嬉しいです。憩の部屋に来て、心の栄養を充電してくださいね。



指導員 段村ゆかりさん（左）
西麻里子さん（右）

あなた自身には何も非はない

不登校は結果です。決して自分に原因を探して責めないで。私たちは君たちの「今」を支えるけれど、「今」だけが全てではない。どうか前向きな気持ちをもってください。支援の始まりが早ければ、回復も早まります。もし悩んでいるご家庭があれば、ぜひ相談にお越しく下さい。



センター長補佐 奥田雅昭さん（中）
育成員 太田敦久さん（左） 福井千晴さん（右）

01

公的支援の窓口



教育支援センター

住所 御幸辻787番地の2
問合せ ☎32-1512

今年4月、教育相談や適応指導、青少年の非行防止や健全育成に一体的に取り組むため、青少年センターと教育相談センターが統合して教育支援センターが誕生しました。
児童生徒や保護者、学校関係者が相談できる場として、さらに登校が困難な子どもたちの居場所として、心理士や教員OBなど、専門知識や経験を持った職員がサポートにあたっています。

活動の様子 子どもたちの個性に合わせた取組みをしています



憩の部屋
部屋の仲間や指導員、スタッフ、メンタルフレンド（18歳〜24歳のボランティア）と一緒に体験活動に取り組むことで、人と関わる不安や悩みを和らげることを目指す場所です。
「憩の部屋」に参加すると、学校の出席扱いと認められます。



相談対応

不登校やいじめ、学校生活、家庭生活上の悩みや子育ての不安などについての相談に応じます。上記電話番号へお申込みください。



子どもメール相談

対面では話しづらい学校生活・交友関係、異性問題などについて、メールで相談を受付けています。相談内容の秘密は守られます。左のQRコードを読み取り、相談内容をメールしてください。

- 入室方法
参加を希望する場合は、在籍校と相談の上、教育支援センターへご連絡ください。見学や体験、面談を行なったのち、正式入室となります。
- 入室時間
中学生 月・火・金曜日の午前9時30分〜午後2時
小学生 水・木曜日の午前9時30分〜正午
※利用生の状況により、変更する場合があります